

浜嶋です。

おはようございます。

26日のBVS隊の隊集会が終わった時のことです。

あるお母さんが、「最後の声が大きかった。今日よかったことはこれだけ！ 後はいいところがなかった」と言われました。

隊集会では、指導者との挨拶、開会儀礼、各種プログラムなどたくさんスカウトの出番があります。

お母さんは、スカウトと一緒に遊びながら一つひとつスカウトの様子を見ているのですね。

指導者も目標を持って、スカウトがそれを達成できたら「よくできたね」と誉めています。

スカウトは達成できた喜びと誉められた喜びで2倍楽しくなるでしょう。

そして、次の隊集会が待ち遠しくなるでしょう。(I can't wait.)

隊の目標は、保護者の目標と一致させることで、スカウトの成長を互いに確認できると思います。

隊の目標を指導者だけで決めるのではなく、保護者の希望も取り入れて作るといいなあと感じました。

「ちかいとおきての実践」は、ボーイスカウトの教育方針です。保護者もこれには賛成していただけたと思います。

これを具体的に行うために、隊集会のプログラムの要素（指導者との挨拶、開会儀礼、各種プログラム）で、どんなことを目標にするか。

指導者と保護者が、スカウトの成長に役立てられることを一緒になってやると効果が大きいと思います。

最近、BVS隊では、保護者に相談してプログラムを考えるようになってきました。

お話する時間があれば、もっと要望が出てくると思います。

隊指導者と保護者が協力する体制ができれば、保護者もおもしろくなるし、指導者もスカウトに喜んで貰えるプログラムが

できることと、スカウトの教育効果を高めることができると思います。

大阪連盟の事業計画の説明で「運動の質の維持、向上を図ろう」と言っています。

ボーイスカウトの品質向上は、2団が取り組んでいることと同じことです。

19日のボーイスカウト講習会に参加したデンリーダーから、とてもよかったと感想を頂きました。主体的な気持ちになられたそうです。

保護者も指導者も研修に参加して、実際の活動でスカウトの育成に貢献できれば、2団の質が向上します。

各隊とも指導者と保護者の連携を密にさせていただいて、積極的に活動に関わって頂けることを期待しています。